

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区魚町1-6-16

団体名 株式会社 三菱UFJ銀行北九州支店

代表者 寺澤 寛幸

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきかいしゃみつびしゆーえふじえいぎんこうきたきゆうしゅうしてん	
団体名	株式会社三菱UFJ銀行北九州支店	
(ふりがな)	てらざわ ひろゆき	
代表者氏名	寺澤 寛幸	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 魚町1-6-16
	主たる事業所	東京都千代田区丸の内2-7-1
事業概要	銀行業（融資・預金・決済業務等）	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	金融業、保険業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.bk.mufg.jp/	

連絡先

担当部署	なし（副支店長）
担当者	木原 嘉之
電話番号	093-521-6011
メールアドレス	yoshiyuki.kihara@mufg.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<p>(エネルギーの使用状況の把握と効率化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MUF6グループの国内主要5社(※)について、自社CO2排出量(Scope1・2)について業計し、開示済。(※)持株会社(MUF6)、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券ホールディングス、三菱UFJニコス ・そのうえで、2021年5月に発表した「MUF6カーボンニュートラル宣言」において、2030年までにMUF6自らの温室効果ガス排出量をネットゼロとすることを表明済みです。 https://www.mufg.jp/dam/prosearolease/2021/pdf/news-20210517-003_ja.pdf ・(再エネの使用) ・上記「MUF6カーボンニュートラル宣言」において、2030年度までにMUF6自らの温室効果ガス排出量をネットゼロとすることを表明しており、グループ内の三菱UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行・三菱UFJ証券ホールディングスの国内拠点において、自社契約電力の再生可能エネルギー化を実現します。非化石電源の活用により、非化石価値取引市場の活性化による再生可能エネルギー普及の推進をめざしており、三菱UFJ銀行は、2021年6月に実質的に100%再生可能エネルギーへ切り替え済みです 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7、ゴール13	環境(1)②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・紙、段ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別回収の徹底 ・ペーパーレス化の促進 ・マニフェスト規制を遵守し、適切な廃棄物の処理を行い、マニフェストを保管している 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール13	環境(2)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> ・購買先の公平・公正な選定と取り扱い: 経済的合理性に基づき公平・公正に取引先を決定します。特定の取引先に正当な理由なく特別な待遇を与えたり、不当に不利益を課しません。 ・法令・社会規範の遵守: 購買活動にあたり、関連するすべての法令、ルールを遵守し、高い倫理観に基づき行動します。 ・機密情報の取扱い: 購買活動を通じて知り得た、取引先の機密情報は厳格に管理します。 ・環境への配慮: 地球温暖化防止、生物多様性保全等、環境配慮も視野に入れた購買活動に努めます。特に紙については、適切な森林管理のもと生産される等、環境面に配慮した商品の購入を原則とします。また、環境認証を取得する等、環境面に配慮した行動を志す企業を数い、パートナーとしての絆を深めていきます。 ・購買先への協力要請: 基本的な人権の尊重、法令の遵守、反社会的勢力との取引排除、環境配慮等、公正かつ健全な企業活動を求めます。 ・購買先とのパートナーシップの維持: すべての取引先をパートナーとして尊重し、対等かつ誠実な対応により信頼・協力関係の維持に努めます。優越的な地位を盾に、不当な利益を要求したり、受けたりはしません。 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	環境(2)②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の持続可能性を確保するための社会・経済システム転換の道筋を研究している東京大学グローバル・コモンズ・センターの取り組みに共感しMUF6として支援を実施、日本の脱炭素化への道筋とその実現における金融の役割について、協働して研究を行う。 ・IPS細胞の社会実装をめざすスタートアップへ銀行が主要株主として出資、IPS細胞技術の産業化を行き届けることで日本発の技術が世界へ広がることを目指す。 ・MUF6として、ビジネスサポート・プログラム「Rise Up Faeta」開催、新規性・独創性を有する事業や既存の事業領域を超えて新たな事業に取り組んでいるスタートアップ企業に対し、MUF6のネットワークや経営支援等これまでに培ってきたノウハウを最大限活用し、新事業にチャレンジする企業を中長期的にサポート。 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	経済(1)①
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> ・銀行として、パートナー企業と共に再生可能エネルギーファンドを創設(再エネ電力を「つくる」ことに加え、再エネ電力の「小売」、MUF6およびパートナー各社、関係先での再エネ電力需要をきっかけとした再エネ電力を「つかう」までを一気通貫で行い、再エネの普及に貢献) ・ファイナンス(与信取引)において、環境・社会に係るリスクを管理する枠組みとして、「MUF6環境・社会ポリシーフレームワーク」を制定。石炭火力発電や鉱業(石炭)、石油・ガス等、気候変動を含む環境・社会への影響が懸念される特定のセクターについては、ファイナンスにおけるポリシーを定めるとともに、ファイナンスの対象となる事業の環境・社会に対するリスクまたは影響を特定し、評価するためのデューデリジェンスのプロセスを導入しています。 ・上記のほか、赤道原則(※)に基づいたデュー・デリジェンスを実施し、持続可能な環境・社会の実現に取り組んでいます。(※)大規模プロジェクトによる環境・社会リスクと影響を特定、評価し、管理するための枠組み。 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	経済(1)①
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> ・手続のオンライン化によるお客さまおよび自社の業務プロセス改善による働き方改革の促進をすることで、お客さまに向き合う時間や新たな挑戦に取り組む時間の創出に取り組んでいる。 ・事務手続や金庫運営の見直し、ペーパーレス化やリモートワークのインフラ整備を実施。 ・国内営業店の空きスペースなどを活用した「サテライトオフィス」は、2019年の7拠点から33拠点に拡大。 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	経済(3)①

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> ・グループ共通の人権方針を設定し、差別や人権侵害を行わないことを明確化。 ・多様性は「変化の時代」に対応していくための強靱性を与えてくれる大切な価値観と認識。サステナビリティ経営の優先10課題の一つに「インクルージョン&ダイバーシティ」を掲げ、多様な価値観やバックグラウンド、就業意識を持つ社員が互いに尊重・切磋琢磨し、一人ひとりが成長・活躍できる組織・カルチャーの醸成に取り組んでいる。 ・新中計では、2024年3月末の国内の女性マネジメント比率（次課長以上）を23%にする数値目標を設定。上位職の女性社員に対して選抜研修やメンタリングプログラムなどを実施し、役員をめざす意識の醸成や、高度なマネジメントスキルの習得を促進。これらの取り組みの結果、MUF8は2021年に「なでしこ銘柄」に選定。 ・LGBTQの行員がおりのままに活躍できる職場づくりに向けて同性パートナーシップ認定制度の導入や研修等の啓発活動を継続的に実施。 ・障がい者の雇用促進や外国人・中途採用者の管理職への費用・育児・介護・不妊治療等と仕事との両立に対する支援等のほか、多様性を阻害する要因となり得る「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」に着目したeラーニングを全社員向けに継続的に実施している。 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会（1）③
								ターゲット	具体的な取組
								5.5	社会（1）ア
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員を対象にセクハラ・パワハラの人権に関する相談窓口を設置。 ・人権啓発推進委員会を設置し、毎年人権に関する社内研修を実施、毎月社内でも人権に関する便りを発信し、人権に対する理解を深めている。 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会（1）②
								ターゲット	具体的な取組
			8.8	社会（1）イ					
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ・産業医・カウンセラーが常駐し、定期健康診断の結果に基づくフォロー健診、過重労働面談等で社員の健康管理を行うほか、医師やカウンセラーと連携を図りながら社員のメンタルヘルスの対応を実施。 ・ストレスチェック等を実施し、従業員の心と体の健康管理に取り組んでいる。 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会（3）①
								ターゲット	具体的な取組
			3.4	社会（3）ア					
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・社員一人ひとりの「自発的キャリア形成」や、そのための「成長と挑戦」を強く後押しするため、グループ内外を問わず、多様な経験を重ねるための枠組みをキャリアチャレンジ制度と位置づけ、様々なプログラムを導入済み。 ・グループ内では新たな業務に挑戦する「Job Challenge」や新しいサービス・商品等のアイデアを社員が提案し、自らその推進を担う「新事業提案制度」を開始。 ・グループ外では、スタートアップをはじめとした外部企業での経験を得る機会を提供する「オープンEX」、一定の休業期間を認めることで、留学・資格取得等への挑戦を支援する「Challenge Leave」などのプログラムがある。 ・オンラインでの自己啓発ツールも充実。 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	経済（1）②
								ターゲット	具体的な取組
			4.4	経済（2）イ					
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知。 ・不公正な取引の禁止について行動規範に明記し、従業員および社外に周知。 ・グループベースの対応として「MUF8贈収賄防止規則」を制定のうえ、グループ各社において贈収賄防止のための規則・規程・手続きを整備し、管理態勢を一層強化しております。また、研修・教育による周知を継続しルールの浸透に努めております。 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会（2）③
									ターゲット
			16.4	社会（2）ウ					
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV（※）などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> (専門部署) ・自社のサステナビリティへの取り組みを企画する専任部署として経営企画部内にサステナビリティ企画室を設置、加えてサステナブルビジネスの推進を行う専任部署としてサステナブルビジネス部を設置しています。 (災害時等の対応) ・自然災害や異常気象の増加等により社員や保有資産が被災するリスクを想定し、事業継続に向けた各種訓練や事業継続計画（BCP）策定等の対策を講じています。 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール13	経済（2）①
								ターゲット	具体的な取組
			13.3	社会（2）ア					

※CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）
企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス（経済的な価値）を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月28日

団体名 株式会社三菱UFJ銀行北九州支店

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

私たち三菱UFJ銀行北九州支店は「MUFG随一のSDGs先進拠点になろう！」を目標に一人一人が活動しています。市と市民と企業の協働による持続可能な街づくりを推進していきます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		気候変動に対する取り組み ・ Eco通帳の新規申込・切替10件につき1本植樹	指標 (KPI)	植樹本数	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2023年 (その他の場合) ()年	90本 (30本/年)	具体的な取組
経済		健康寿命延伸に係る取組 ・ ランアプリに登録し各人の走行距離を管理。行員の健康管理の一助に	指標 (KPI)	ランアプリ登録者 走行距離	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2030年 (その他の場合) ()年	30000km (3000km/年)	具体的な取組
経済	○	従業員のSDGs認知度向上 従業員を5チームに編成し各チーム毎にSDGs活動に取り組む	指標 (KPI)	SDGsチーム活動 実施回数	指標
社会			目標値		経済 (4) ①
環境			2023年 (その他の場合) ()年	180回 (60回/年)	具体的な取組

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 株式会社三菱UFJ銀行北九州支店

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
19 道路サポーター制度	2021年度より道路サポーター制度に登録。 月に1回社員で清掃活動実施。 年3回花植え活動実施。
99 その他（市と連携した取組み）	2020年度、MUFJ社会貢献ファンド（社内社会貢献活動）より50万円の支援金を確保。 北九州市子ども家庭局子育て支援課と連携し北九州市内約30ヶ所の子供食堂を利用する子供たちへクリスマスプレゼントを500個用意。内5ヶ所の施設へ直接持参。
99 その他（市と連携した取組み）	特定非営利活動法人フードバンク北九州 ライフアゲイン、特定非営利活動法人抱樸へ非常食・生活用品の寄贈を実施。 SDGs目標1：貧困をなくそうに資する活動。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。